





旧三翠会館の概要

規模と構造	規模	建築面積357㎡ 建築延面積501㎡(1階309㎡・2階192㎡)
	構造	木造二階建(一部平屋建)寄棟造(一部切妻)
竣工		昭和11年9月24日
設計		三重高等農林学校工手 的場 久壽雄
施工		三重県河芸郡栗真村大字町屋 加藤組 加藤要作
登録有形文化財		平成14年2月14日付け登録(登録番号24-0041)

●建物概要

建物は木造で西面し、北寄りの2階建て部分と南寄りの平屋部分からなります。2階建て部分は西正面中央に車寄せが突出し、大屋根も寄棟造を基本としています。正面中央葉切妻破風を設けて正面性を強調させています。平屋部分は、西切妻造東入母屋造となる等外部は、変化に富んだ構成の木造洋風建築です。また、この建物は完成時屋根にドーマー窓が設けられ、洋風建築の外観を一層際立たせていましたが後年に取り除かれています。なお、屋根の構造は大規模なトラス組構造となっています。

外壁は、主に見板張りペイント塗り仕上げで、化粧柱型や窓枠によって全体に縦長に壁面を分割されており、窓は上げ下げ窓と引き違い窓を併用しています。内部は2階建て部分の階下に応接室兼展示室・展示室・事務所・ロビー兼休憩室・湯沸・便所などを設け、玄関ホールからは平屋部分の多目的ホールに接続しています。これらの1階は板床で各天井または打上天井を用いた洋間であり、これに対して2階は28帖の大広間と8帖の和室4室、これらの部屋の周辺の廊下にて構成されるゆったりとした本格的日本間です。また、建物仕上の細部に幾何学的形態の装飾がところどころ施されているのも、この当時の建物の特徴です。

●三翠会館

「三重大学三翠会館」は、三重大学の母体である三重高等農林学校の開校10周年記念事業として同窓会の醸金により建築されたもので、工事は昭和11年(1936年)1月28日に着工し、約9カ月を要して同年9月24日に竣工し、同年11月1日開館されました。

建物は、木造洋風2階建一部平屋建で、集会室として1階洋室と2階和室が設けられ、面積は1階309㎡、2階192㎡、計501㎡です。集会・宿泊や校史関係資料展示などに活用されてきました。さらに、昭和47年(1972年)に農学部創立50周年記念事業の一環として、集会室の西側に新たなベランダが設けられました。このベランダは、グラバー邸を思わせる明治調のもので、三翠園とよく調和した景観をかもし出しています。

三翠会館の建物は、簡潔な意匠による経済的で技術的にも容易な技術様式体系が用いられ、昭和戦前期に建築された地方の木造公共建築の特色をよく留めていることから、平成14年(2002年)2月14日、登録有形文化財に指定されました。また、三重大学開学50周年記念事業の一環として同窓館の大改修工事が行われ、平成14年(2002年)3月25日竣工し、三重高等農林学校時代の唯一の既存建物としてキャンパスに由来ある風情を残しております。

●三翠の由来

三重高等農林学校創設の頃、海岸まで濃い緑の松林に囲まれた学園から望むことができる伊勢湾の素晴らしい景観(空のみどり、樹のみどり、波のみどり)を因んで、三翠学園と呼ばれるようになりました。

*注この模型は生物資源学部・資源循環学科・森林資源環境学講座・木質資源工学研究室の学生らが創立100周年を記念して1/20スケールで制作した。